

【日 時】平成19年8月29日(水) 19:30~21:20

【場 所】下山支所2階会議室

【出席者】委員12名(4名欠席)

事務局(副支所長 永田 酒井 川合 加藤)

【次第】1 開会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員指名

4 各分科会の取組み状況について

5 協議事項

(1) テストコース事業に係る地域課題について

(2) わくわく事業から地域固有事業の移行について

(3) 地域会議の提言書について

6 その他

(1) 都市内分権の見える化(案)について

(2) 今後の予定

7 閉会

【内 容】

1 会長あいさつ

2 会議録署名委員指名

奥田委員を指名

3 前回会議録の承認

6月21日木曜日の午後7時30分より第4回の地域会議を支所の2階会議室で行いました。内容は、コミュニティ会議との分科会方式による取り組みについて検討をしていただきました。そして事務局より、地上デジタル放送及びトヨタ研究開発事業の現状について説明をしました。

4 各分科会の取組み状況について

(会長) 各分科会の取組み状況について報告をいただきたいと思います。

(高齢者分科会) 8月20日に分科会を開催し、テーマである「高齢者が楽しく生き生きと働いている」と決まった経緯について説明し了解をいただきました。そして分科会の取組みテーマについても確認をしました。今後の取組みとしては、まずは下山地区の産地直売所の現地調査から始めるということで、現地調査を行い次回の分科会において調査結果を検討していくという計画になっています。

(女性分科会) 8月5日に分科会を開催し、女性がもっと働きやすい暮らしやすい地域づくりという大きな問題の中で、学童保育が不可欠な問題になってくるのではないかとということで、今回のアンケート調査はこの問題に絞って行うということになりました。アンケートの項目については

各委員で検討し、次回の合同会議で項目の決定をしたいと思います。

(若者分科会) 8月7日に分科会を開催し、将来ビジョン達成のためには、具体的にどのように取り組んでいくかを話し合いました。若者という定義を、少し拡大して若者と女性に幅を広げていくという意見がありました。そしてそれを組織化していくにはコミュニティ会議に協力いただきコミュニティ会議の中に組織化をしていきたいという思いがあります。今後は、コミュニティ会議の役員の皆さんにご理解が得られるようなかたちで会議を進めていきたいと思います。

5 協議事項

(1) テストコース事業に係る地域課題について

テストコース事業の進展に伴い、まちづくり推進協議会が組織されました。協議会には開発部会とまちづくり部会の2つの部会があり、地域会議から4名の委員がまちづくり部会の部員になっています。今まで3回開催されていますが、今後進展がありましたら委員の皆さんに報告をさせていただきますのでよろしくお願いします。

将来ビジョンを3つに絞り込んだときには、テストコース事業のことを考慮していませんでしたので、今後テストコースの進展を見ながら、対処していきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

(2) わくわく事業から地域固有事業の移行について

わくわく事業の中には本来行政が行うべき事業ではないかと思われる事業があると思います。今後、このような事業がありましたら、地域会議から提言をいただき、市で予算化をして市の事業として取り組むこともありますのでよろしくお願いします。

(3) 地域会議の提言書について

最終的に3月までには提言をまとめて、支所長に提出していきたいと考えています。提言書作成の検討委員の選出であります。役員4名と分科会のリーダーを検討委員にしたいと思います。

6 その他

(1) 都市内分権見える化(案)について

都市内分権といいましても、実際は支所に予算や権限がついていないと疑問を持っている声を聞きます。そこで都市内分権を推進するということで、都市内分権のかたちを見えやすくします。最初に地域の意見の集約と調整を行い、特定課題を決定し、特定課題解決にあたり、事業計画書を策定します。そして、特定課題解決のために支所と本庁で予算化をするということでもあります。どの地域会議も当面概ね2千万円を予算化していこうということでもあります。スケジュールについては、今年度は仕組みづくりであり、来年度運用ルールや施策の絞込みを行い、平成21年度から事業実施する計画であります。わからないところや疑問がありましたらご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。